

3月 1日 ~ 15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/03/03 (月)	東京は日経平均が600円以上も下落したことで信用リスクが再燃。円も対ドルなどで1円を越える急騰。欧米は弱い米経済指標を受けて円は続伸。しかし途中からはショートカバの機運高まり流れが反転。	・2月の米ISM製造業指数48.3、1月の建設支出 1.7%	・ストロスカンIMF専務理事「ユーロは過大評価」 ・ECB総裁「米国が強いドルを望んでいることは重要」 ・米財務長官「強いドルは米国の国益にかなう」	103.10 103.71 102.60 103.49	156.70 157.74 155.95 157.35	寄付 安値 高値 終値
08/03/04 (火)	東京は株価にらみ一進一退。豪ドルは豪利上げにも関わらず利下げ打ち止め感などから冴えない。欧米はFRB議長や理事の発言を受けドル安進行。しかし、CNBC報道を受けて流れが一変、ドル高値引け。	・豪州が0.25%の利上げ動意 ・第4四半期ユーロ圏GDP改定値0.4% ・カナダが0.5%の利下げ動意 ・CNBC「アメリカ救済協議が進展」	・ユンケル・ユーログループ議長「ユーロは他通貨に対して過大評価」 ・FRB議長「住宅価格はさらに下落」 ・シュキンFRB理事「米経済成長に顕著な下方リスクが見られる」	103.54 103.57 102.65 103.37	157.36 157.38 156.12 157.30	寄付 安値 高値 終値
08/03/05 (水)	東京は新規材料に乏しく103円半ばを挟んだ揉み合い。豪ドルが前日に続き荒れ模様。大きく値を下げた。欧米は米経済指標に一喜一憂。ADP全米報告が悪化したことでドル売り。しかしISM指数は逆に良好。	・2月の米ADP全米雇用報告 2.3万人、同ISM非製造業指数49.3、1月の製造業受注 2.5%、第4四半期非農業部門労働生産性改定値1.9% ・米地区連銀報告「本年初めから成長は減速」	・アメリカ「資本増強策、普通株と出資証券で15億ドル発行」 ・ムーティーズ「アメリカの格付けを据え置く可能性高い」 ・仏大統領「ユーロの上昇は経済への衝撃」	103.39 104.20 103.29 104.01	157.24 159.22 157.01 158.76	寄付 安値 高値 終値
08/03/06 (木)	東京はFR報道を受けて円買い優勢。ただ公的資金注入の噂や米民主党に関する報道から流れ反転。欧米は米住宅指標の悪化などからドル買いに傾く。逆にトシエ発言からユーロが小さい。	・NZが政策金利を据え置き ・英タイムズスクエアで小規模な爆発 ・英国とECBが金利を据え置き ・1月の米中古住宅販売留保±0、第4四半期住宅ローン延滞率が1985年以来の高水準へ	・FT「アメリカの資本増強は不十分」(その後「公的注入へ」の噂あり) ・米下院民主党が住宅ローン買収法案を検討との報道あり ・ECB総裁「短期的なインフレに強い上昇圧力」	103.93 104.01 102.55 102.67	158.77 158.90 157.70 157.91	寄付 安値 高値 終値
08/03/07 (金)	東京はショートカバと思しきドル高でスタート。しかし株安などもあり続かず。結局は行って来い。欧米は米雇用統計が予想を超える悪化となったことでドルが急落。ドル/円は一時101円台へ。	・日銀が全会一致で金利据え置き ・3月の日銀金融月報 ・2月末の外準1兆79億ドル ・2月の米失業率4.8%、同非農業者雇用数 6.3万人	・日銀総裁「為替は輸出企業への影響だけではない」 ・ECB総裁「過度の相場変動は望ましくない」 ・米財務長官「2月の米雇用統計は望ましくない」	102.59 103.25 101.40 102.68	157.82 158.42 156.70 157.67	寄付 安値 高値 終値
08/03/10 (月)	東京は機械受注が予想外の数字になったうえ、日経平均が大きく下落したことで円買い優勢。欧米は円続伸。米利下げ観測などが円買いを後押し。一方、ユーロも買われたがECB総裁発言が重石に。	・1月機械受注19.6%、2月景気ウォッチャーは33.6 ・米緊急利下げの噂あり	・津田財務次官「為替相場は常に注意深く見ている」 ・ECB総裁「現状の過激な為替変動は懸念」 ・アルムニア欧州委員「米国は強いドルを望んでいる」	102.27 102.45 101.55 101.75	157.44 157.58 155.96 156.13	寄付 安値 高値 終値
08/03/11 (火)	東京はWSJによる報道を好感した動きから円売り優勢。また日銀総裁人事をめぐるゴタも嫌気された。欧米は円は続伸。欧米中銀の協調流動性確保を好感した米株高もありドル/円は103円半ばの高値引け。	・参院で日銀総裁人事不同意 ・3月の独ZEW景況感指数 32.0 ・1月の米貿易収支 582億ドル、対日65.9億ドル、対中203.1億ドル ・欧米5ヶ国が協調の流動性供給策を発表	・額賀財務相「今後の相場動向を注意深く見守っていききたい」 ・WSJが「FRBによる抵当証券市場への直接介入の可能性」を示唆	101.47 103.60 101.43 103.42	155.62 158.95 155.59 158.62	寄付 安値 高値 終値
08/03/12 (水)	東京は発表されたFDPが予想を上回る好数字となり円買い要因。また本邦勢のリハビリなどから円高優勢。欧米は円が続伸。欧米中銀の流動性確保は根本的な解決にならないとの見方が広がり調整売りが加速。	・第4四半期GDP速報値0.9%、1月経常収支1兆2358億円、2月国際企業物価指数0.4% ・WSJ「ヘッジファンド、ドレックキャピタルに経営危機、ファンドローズ観測も」	・英財務相「英経済はG7各国のなかでもっとも安定」 ・ユンケル・ユーログループ議長「米国がドル高を望んでいることに満足」 ・サウジアラビア中銀総裁「ドルは過小評価されている」	103.28 103.33 101.63 101.80	158.42 159.14 157.95 158.31	寄付 安値 高値 終値
08/03/13 (木)	東京は連日のヘッジファンド破綻観測を受けて円買い優勢。しかしOPバリアに阻まれ100円は割り込めず。欧米早朝ついに100円割れ。しかしS&Pがサブプライム問題に楽観的な見直しを示したことで一転ドル買い。	・ドル/円が12年ぶりの100円割れ ・2月の米小売売上高 0.6% ・S&P「大手機関にとっては終息の兆しが見えてきた」	・一部報道「カーライル傘下のカーライルキャピタルが債権者と合意出来ず」 ・米大統領「強いドルを支持する」 ・米財務長官「強いドルは国益にかなう」	101.49 101.70 99.77 100.65	157.73 157.97 155.54 157.37	寄付 安値 高値 終値
08/03/14 (金)	東京は早朝こそ円売りも見られたがその後は怒涛の円買いへ。ドル/円は再び100円割れ。欧米はFRBによる資金供給を受けた信用リスクの再燃観測高まり円は続伸。ドル/円は一時98円台も。	・EU首脳会議でユーロ相場に関する議論実施の噂 ・2月の米CPIは±0%、3月のシガン大消費者信頼感指数速報値70.5 ・FRB声明「ヘアスターズへの資金供給の枠組みを全会一致で決定」	・ユンケル・ユーログループ議長「過度の為替変動は好ましくない」 ・EU首脳会議「為替の過度の変動と無秩序な動きは好ましくない」 ・ヘアスターズCEO「過去24時間で流動性が悪化」	100.70 101.15 98.89 99.00	157.31 157.60 154.86 155.18	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで